

市内の私有林人工林の資源調査（樹種、密度、分布状況）を実施、解析し、ガイドラインを作成する。

□ 事業内容

森林資源調査業務

- ・既存の森林データの整理を行い、市内における森林の分布状況を調査・解析する。
- ・森林経営管理に向けた意向調査の準備支援として、モデル地区を選定し、森林境界保全図素図を作成する。
- ・森林所有者の意向調査から森林整備までの一連の作業について、先行事例を参考に検討し、ガイドラインを作成する。

【事業費】 4,345千円（うち譲与税 4,345千円）

【実績】 4,345千円

□ 取組の背景

- ・市域のうち12.8%にあたる806haが森林で、うち地域計画対象民有林が656ha、うち私有林271ha
- ・市内に林業経営体が存在せず、林業経営は期待できない現状

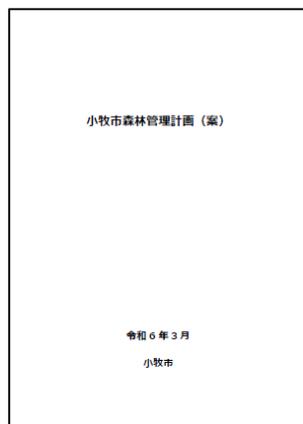


図 2-12 現地調査結果（大字野口付近）

□ 工夫・留意した点

- ・愛知県の航空レーザー計測データの解析成果を活用
- ・林業経営の観点からだけでなく、災害対策等の観点からも森林管理手法を検討できるようデータの整理等を行った。
- ・意向調査対象森林の抽出過程や、今後整備する森林境界保全図素図を表示できる3次元表示システムの導入

□ 取組の効果

- ・意向調査対象森林面積33.2haと判明した。
- ・当初の想定どおり、市内で林業経営は期待できないが、災害対策等で森林整備は必要という課題が明確になった。
- ・本市の私有林のうち地番面積規模が0.1ha未満が全体の83.5%と、1人の所有面積が非常に小さいこと、モデル地区の選定において意向調査の対象となる地区が1箇所のみと判明した。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：16,356千円	②私有林人工林面積（※1）：113ha	
③林野率（※1）：10.7%	④人口（※2）：148,831人	⑤林業就業者数（※2）：3人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より